

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊賀市	代表者名	稲森 稔尚
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部秘書広報課
担当者役職	主幹兼広聴広報係長	担当者氏名	古川 美紀
住所	518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	戦略的広報推進のための職員研修
概要	R6年2月に策定した市の広報戦略指針（伝える広報から伝わる・つながる広報へ）をもとに多様な媒体を生かした情報発信と広聴機能の充実による広報活動についての進め方や人材育成の方法を検討したい。多様なニーズに対応していくため、特に電子媒体（ホームページやSNS）の強みを生かした、広報について当市が抱える課題や問題点を整理し、ICTを活用した広報について助言いただきたい。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	144K-3	令和6年12月3日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月22日	講演&フォローアップ(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間(分)	300
2-2.	会場名	伊賀市役所	最寄駅	伊賀鉄道 四十九駅	
派遣場所	所在地	三重県伊賀市四十九町3184番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研修の中でメディア活用戦略ワークをしたことによって、オウンドメディア役割やSNSを含むメディアの活用方法などについてより理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	なし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	13人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	13			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)				
	広報戦略に基づく広報活動を行う上で職員の業務が増すのではないかと懸念がある。効果的な広報の手法についての事例などの情報が不足している。ニーズやターゲットにあった広報ができておらず、市民の行動変容を促すための広報企画が立てられない。以上の点について、職員研修を行いたい。				
	支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)				
	上記にある職員のネガティブ意識を払拭し、仕事の成果として結果が見える広報とは何か、広報企画はどのように立てるのかについて学んだ。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	広報活動に対する考え方や「効果的な」広報企画を「楽に」「簡単に」作るための手法を学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員研修についてのイメージの共有が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 受講者が広報活動の意味や目的を理解した。またデジタルツールの効果的な利用方法についても事例紹介などを通してイメージができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	実際の業務に当てはめて、次年度の計画を立てることは各自の課題となった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アリの行的に行ってきた広報が重荷だったが、情報発信の目的やターゲティングを明確にすることで、仕事が楽になることが分かった。インセンティブに必要性やオウンドメディアの活用方法がよく理解できた。オウンドメディアだけでなく、市民の投稿やシェアを活用したりアードメディアの特長を知って活用するといった発想ができるようになった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 引き続き研修を行い、より多くの職員が今回学んだ手法を活用できるように取り組む。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員の広報に対する意識変容とSNSを活用した情報発信の活用を促し、市民の関心、行動変容につなげる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

